



# 緑2 独立防災隊ニュース

回覧

発行番号 50号(新年号) 発行日 29-1-16 発行人 隊長:堀口 眞 編集人 広報部長:福澤 祥二

## 防災隊長 新年ご挨拶 『火災に対策が一番大切』

あけましておめでとうございます。本年も皆様にとりまして良いお年になりますようお祈りいたします。昨年は**熊本大地震・東北と北海道の大水害・糸魚川の大火事**に見舞われました。日本列島は正に災害列島と言われて



堀口隊長

もしやがないような厳しい状況でした。私どものまちは大地震で一番怖いのは**「火災」**です。相模原市の災害予測では**光が丘地区は危険な地域**と予測されています。糸魚川の大火災は私たちの町にも起こりうることです。同時多発的に火災が起きたら消すことは出来ません。初期消火が全てです。**警報機・バケツ一杯の水・消火器など準備**して下さい。そして大きな声で**「火事だ〜」と叫ぶ**ことです。**防災隊ニュース**も早いもので**50号**の記念号になりました。広報部長の福澤さん、そして初代の藤中さんありがとうございました。

## 第10回 定例会の開催 1月14日(土) 19:00~ 自治会館

- ・3月12日(日) 10:00~12:00 独立防災隊連絡協議会主催 合同防災訓練 下溝防災訓練所
- ・仲西 宏氏 緊急防災講演会 2月26日(日) 10:00~12:00 青葉小学校体育館(入場無料)
- ・デジタル無線機用アクセサリ(小型スピーカーマイクおよび耳掛け式イヤホン)を2セット購入

## 機具点検と無線機を使用した放水訓練を実施 1月8日(日) 9:00~ 緑が丘2丁目公園周辺

首都直下地震(M7.1)級の地震で住宅の火災が発生し水道の地下式消火栓が使用できないときに、緑2地区には**防火水槽は3ヶ所しかなく可搬ポンプからから放水筒先まで60mから120m程度ホースを延長**する必要があります。今までは**放水の開始・終了の伝令を2番員が機関員まで走って伝達**していましたが、これを指揮者と機関員が**直接デジタル無線機を使用して通話**することで、より**スピーディな伝達が可能**となりました。



1番員の放水筒先は機関員から見えない



指揮者が無線機で「放水始め」を伝達



機関員も無線機で「放水開始」を連絡

**外出先で地震が起きたら(2)**

**防災**  
まめ  
知識

- 住宅街**: **ブロック塀等から離れましょう。**切れて垂れ下がっている電線には決して触れないようにしましょう。**ガラスや看板等が落下**するおそれがあります。手荷物等で頭をまもりましょう。
- 地下街**: 地下街には約60mおきに出口があります。壁伝いに移動すれば地上に避難できます。もし**火災が発生したら、ハンカチ等で鼻と口を覆い、姿勢を低くして進み**ましょう。



防災ブック「東京防災」東京都総務局より

## ~緑2・独立防災隊ニュースに使用する文字を変更いたします~

防災隊ニュースは今号で**50号**を発行することができました。これも皆様のご支援、ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。**次号より、文字サイズを約15%拡大し、フォントもこの文章に使用しているものに変更**することで、誌面をより読み易くするとともに、内容の充実も図っていきます。